

第5回 歴史&ハイキング愛好会 例会実施報告

当番幹事 榎本 哲夫

松の内が空けた、1月17日（土）JR千葉駅N.T.Tビル前に参加者13名が9時に集合。愛好会初の、マイクロバスを利用して、「東国三社パワースポット巡り」の鹿島神宮に向かう。鹿島神宮は、日本神話最強の武神、勝利の神様・タケミカヅチの神が祀られ、武芸の神として伝えられている。高い古杉が立ち並ぶ参道を厳正な気持ちで、深い鎮守の杜の最奥にひっそり鎮座する、「要石」に参拝。鹿島神宮の要石は凸型で、この後訪れる香取神宮には凹型の要石があり、地中でつながっているという。また、鹿島神宮の要石は大ナマズの頭、香取神宮の要石は尾を押さえ、地震封じの石と伝えられている。

次にアメトリフネの神が祀られた息栖神社向かう。鹿島と香取に祀られる二神が武神で、息栖神社は、武神の乗り物であった「天鳥船」というひかえめな存在だが「土地の守り神」として親しみが持たれる雰囲気でした。また井戸の神体とされる、日本三霊水、「忍潮井」の汽水が、鳥井の下から湧きでて鯉が泳いでいました。ここでは「力石」に参拝。

最後に向かったのは、フツヌシの神が祀られている香取神宮。香取神宮は下総国一宮で、日本全国に約400社ある香取神社の総本社です。香取の神域は大槻郷亀甲山と呼ばれ県の天然記念物に指定されています。神秘的な霊気が漂う中を、「要石」に参拝。今回訪れた三社を結んだ三角点の先は、皇居からはるか遠く富士山にたどり着きます。年初から強力な開運パワーを授かった旅でした。

（参加者・敬称略）

岩崎正憲、岩田芳秀、宇田川修彦、小澤敏宣、川股賢三、住田勝治、野田 佑、平木行雄、平木七重、牧田賢二、宮地秀幸、湯浅尋夫、榎本哲夫（13名）



- * 東国三社を結んだ香取神宮の先は、皇居（江戸城）からはるか遠くの富士山にたどり着く最強のパワースポット



- * 寒さ厳しい早朝、榎本世話人の出欠点呼



- * 鹿島神宮で



- ・徳川光圀公が、要石の正体を突き止めようと、7日7夜掘らせても掘りきれなかった
鹿島神宮の「要石」



＊息栖神社で



＊息栖神社の祭礼の際に若者たちが力比べをしたと伝えられる「力石」と「忍潮井」



*香取神宮で



*香取神宮の「要石」

